

# 病害虫発生予察注意報（第2号）

令和3年5月21日  
神奈川県農業技術センター

病害虫名：オオタバコガ

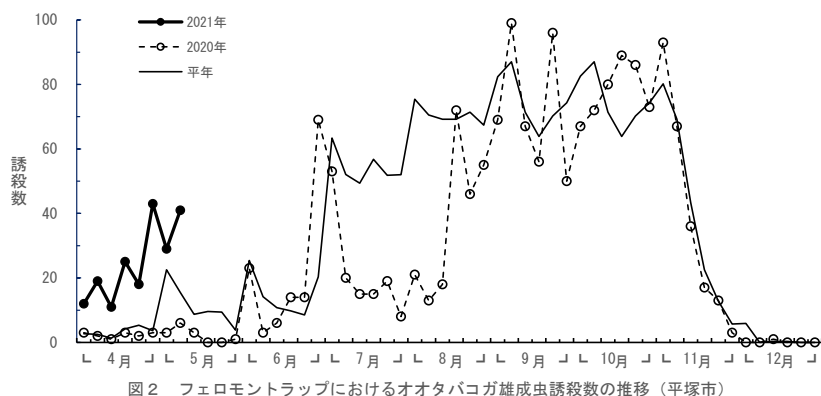
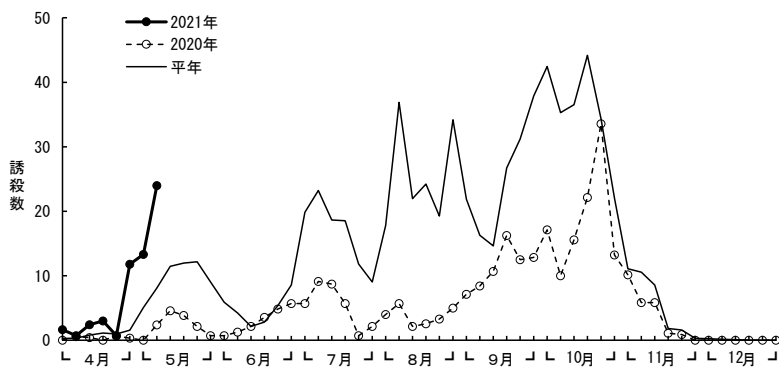
作物名：野菜類、花き類

1 発生地域：県中部

2 発生量：多

3 注意報発令の根拠

- (1) 当センター病害虫防除部が伊勢原市下谷に設置しているフェロモントラップへの雄成虫誘殺数は、4月第6半旬以降に急増し、4月第1半旬から5月第2半旬までの合計が57.7頭と平年（18.3頭）の約3.2倍となっている（図1）。
- (2) 県予察ほ（平塚市上吉沢）のフェロモントラップへの雄成虫誘殺数は、4月第1半旬から5月第2半旬までの合計が198頭と平年（57.6頭）の約3.4倍であり、誘殺数が多い状況が続いている（図2）。
- (3) 気象庁が5月20日に発表した向こう1ヶ月の気象予報では、気温は平年並か高いと予想され、次世代幼虫の発生に好適な条件が続くと予想される。



#### 4 被害と生態

広食性で多くの作物を加害する。若齢幼虫は新葉や蕾、花、幼果に潜り食害するが、肥大した果実には潜らない。中齢以降の幼虫は、花、果実、葉の各部を食害し、トマトやナス、ピーマン等では果実に穴をあけて内部を食害する。幼虫は共食いが激しいので、新葉内か大きな果実でも1頭の場合が多い。新しい食害や虫糞を確認した場合、その周辺に幼虫がいる可能性が高い。

#### 5 防除対策

- (1) 中齢以降の幼虫は果実や花等に食入し、薬剤がかかりにくくなる。また、齢期が進むほど薬剤の効果が低下するため、果実や花をよく観察し、若齢期を中心に薬剤防除を行う。各種作物のオオタバコガに適用のある防除薬剤例を表に示した。なお、農薬使用の際は必ずラベルの記載事項を確認し、使用基準を遵守すること。

表 防除薬剤例

薬剤名	IRAC コード	農薬登録の有無						
		トマト	ミニトマト	ナス	ピーマン	未成熟トウモロコシ	花き類・観葉植物	
スピノエース顆粒水和剤	5	○	○	○	○			
ディアナSC	5	○	○	○	○		○	
アフーム乳剤	6	○	○	○	○	○	○	
アニキ乳剤	6	○	○	○	○	○		
アフームエクセラ顆粒水和剤	6+15	○	○	○	○			
コテツフロアブル	13	○	○	○	○	○*		
マッチ乳剤	15	○	○	○	○			
カスケード乳剤	15	○	○	○	○	○		
カウンター乳剤	15	○	○	○	○			
ファルコンフロアブル	18	○		○	○			
マトリックフロアブル	18	○	○	○	○			
トルネードエースDF	22A	○		○	○			
ベネビアOD	28	○	○		○	○		
プレバソンフロアブル	28	○	○	○	○	○*		
フェニックス顆粒水和剤	28	○	○	○	○	○*	○	
BT剤	11A	野菜類でオオタバコガに適用があるものは、エスマルクDF、トアローフロアブルCT、チューンアップ顆粒水和剤、エコマスターBT、ゼンターリ顆粒水和剤（ハクサイを除く）、フローバックDF等					エスマルクDF、フローバックDF、エコマスターBT等	

※) トウモロコシに適用あり。

- (2) 抵抗性を発達させないために、同じ系統の薬剤は連用せず、異なる系統の薬剤をローテーション散布する。
- (3) 施設栽培では開口部を防虫ネットで覆い、成虫の侵入を防ぐ。

神奈川県農業技術センター  
 病虫害防除部  
 〒259-1204 平塚市上吉沢1617  
 TEL 0463-58-0333  
 FAX 0463-59-7411  
<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f450002/>